2015/8/25 (Tue.) 第94号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
－ 発 行 所 －
日 本 医 師 連 盟
東京都文京区本駒込2-28-16
〒113-8621
TEL: 03-3947-7815
FAX: 03-3947-2662
E-mail: info01@nichiiren.jp

http://www.nichiiren.jp/　　定価　1年400円（但し日医連負担金に含む）

自見（じみ）はなこ氏 自民党公認決定

自民党一次公認を発表

八月三日、自見はなこ日医連参与を自民党は、来年七月施行予定の第二十四回参議院比例代表（全国区）選挙における公認候補とすることを発表した。

八月三日、自民党は来年七月の参議院議員選挙における第一次公認三十九名（選挙区二十七名、比例区十二名）、（その後二名を比例区で追加公認）を発表した。（比例区の公認候補者は別掲のとおり）

自民党は比例区では第一次公認として十四名を発表したが最終的には二十五名程度の公認候補者を擁立する見込みである。

医療関係の候補予定者として、日本薬剤師連盟推薦　藤井基之氏（現・2）、日本看護連盟推薦　髙階恵美子氏（現・1）の二氏も一次公認として発表された。また、日本歯科医師連盟も新人候補者を自民党から擁立する見込みである。

自見はなこ参与は、「自民党公認をいただけましたことは全国の先生方のご支援の賜物で心からの感謝を申し上げます。引き続き全力で活動して参りますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます」と謝意と今後の意気込みを語った。

日医連としても、今回の自民党公認を契機にさらなる活発な後援会活動を展開して参りますので、ご協力をお願い申し上げます。

自見はなこ日医連参与

第24回参議院 比例代表（全国区）選挙 自民党公認候補者

（第一次公認）14名（現 8名、新 6名）　　（五十音順・敬称略・8月10日現在）

	公認候補者	生年月日	年齢	区分	経歴
1	足立（あだち） 敏之（としゆき）	昭和29年5月20日	61	新	元国土交通省技監
2	阿達（あだち） 雅志（まさし）	昭和34年9月27日	55	現	1期
3	宇都（うと） 隆史（たかし）	昭和49年11月12日	40	現	1期
4	片山（かたやま） さつき	昭和34年5月9日	56	現	1期
5	唐木（からき） 徳子（のりこ）	昭和42年1月9日	48	新	全国郵便局長会相談役
6	**自見（じみ） はなこ**	**昭和51年2月15日**	**39**	**新**	**日本医師連盟参与**
7	進藤（しんどう） 金日子（かねひこ）	昭和38年7月7日	52	新	全国土地改良政治連盟顧問
8	園田（そのだ） 修光（しゅうこう）	昭和32年3月13日	58	新	全国老人福祉施設協議会代議員
9	髙階（たかがい） 恵美子（えみこ）	昭和38年12月21日	51	現	1期 (日本看護連盟)
10	藤井（ふじい） 基之（もとゆき）	昭和22年3月16日	68	現	2期(日本薬剤師連盟)
11	堀内（ほりうち） 恒夫（つねお）	昭和23年1月16日	67	現	1期
12	増山（ますやま） 壽一（としかず）	昭和37年8月23日	52	新	元独立行政法人 中小企業基盤整備機構総務理事
13	水落（みずおち） 敏栄（としえい）	昭和18年2月24日	72	現	2期
14	山谷（やまたに） えり子（こ）	昭和25年9月19日	64	現	2期

自見（じみ） はなこ プロフィール

生年月日
1976年（昭和51年）2月15日生
長崎県佐世保市生まれ 福岡県北九州市育ち

所属医師会
東京都医師会・港区医師会・
東京大学医師会

学　歴
1982年　長丘幼稚園卒園（福岡県福岡市）
1988年　福岡県北九州市立霧丘小学校卒業
1991年　明治学園中学校卒業（福岡県北九州市）
1994年　Brookline High School, MA, USA卒業
1998年　筑波大学第三学群国際関係学類 卒業
2004年　東海大学医学部医学科 卒業

経　歴
2004年　東海大学医学部付属病院初期研修
2006年　池上総合病院内科後期研修
2007年　東京大学医学部小児科入局・
同附属病院小児科勤務
2008年　東京都青梅市立総合病院小児科
2009年　虎の門病院小児科～現在（非常勤）
2010年　国会議員秘書（～2013年7月）
2013年　NPO法人日本子育てアドバイザー協会理事
2015年　日本医師会男女共同参画委員会委員
日本医師連盟参与
日本小児科医連盟参与
東海大学医学部医学科客員講師
その他：東京都江東区大島小児科医院非常勤
東京都大田区池上総合病院非常勤

資格など
日本内科学会 認定内科医
日本小児科学会 小児科専門医
国会議員政策担当秘書資格

その他
賞罰：2011年2月消防総監感謝状（人命救助）
趣味：マラソン、読書、旅行、神社・仏閣めぐり

参議院選挙の投票方法

参議院比例区（全国区）は**候補者の名前**を書いて投票する選挙です

1枚目 それぞれの都道府県で
地元の都道府県選挙区の候補者名を

2枚目 全国どこでも
比例代表（全国区）も候補者名を必ずお書きください

日医連常任執行委員会・執行委員会開催

支援（後援会）活動を承認
茂木自民選対委員長が激励

日本医師連盟は、七月二十一日、日医会館において常任執行委員会と執行委員会を開催した。常任執行委員会・執行委員会では、「日医連役員等人事」、「平成二十七年度交付金」、「次期参議院議員選挙対応」について審議を行い、すべての議案が承認された。また、執行委員会では自民党の茂木敏充選挙対策委員長が来賓として出席し挨拶を行った。

日医連執行委員会で挨拶する横倉義武委員長

執行委員会は、今村聡日医連副委員長の司会で開会。

冒頭、横倉義武日医連委員長から次のような挨拶があった。

「執行委員会へのご出席感謝申し上げる。骨太の方針二〇一五が決定された。当初の素案では、医療費削減のためキャップ制をはめるのではと懸念される文言が盛り込まれていたが、陳情活動を行い、小泉内閣当時のような削減金額を明示するようなことが行われれば、医療崩壊が繰り返されることになると強く申し上げた。その結果、最終的には、当初案に比べ表現的に緩和され、『目安』という文言が入った。年末の来年度予算編成に向け、適正な社会保障関連予算の確保がなされるよう政治活動を行っていくので、全国の先生方のご協力をお願いしたい。多くの諸課題が山積するなかではあるが、来年夏の参議院比例代表（全国区）選挙においては自見はなこ氏の推薦を決定しているところである。本日、支援（後援会）活動についてご議論賜りたいと考えているのでよろしくお願いしたい。」

自見はなこ氏を全面支援（茂木選対委員長）

茂木敏充自民党選対委員長

続いて、来賓として出席した茂木敏充自民党選挙対策委員長が挨拶に立った。

「日医連・全国の医師連盟（医師会）の先生方には日頃より、地域医療をお支えいただき、医療・介護・社会保障政策の実現に向けご協力をいただいておりますこと感謝申し上げます。また、本年四月の統一地方選挙等においてもご支援いただきましたことに改めて感謝申し上げます。大変厳しい財政状況のなかで世界に冠たる国民皆保険制度を維持し、持続可能な社会保障制度をいかに構築するかが、今の日本の最重要課題と考えているので、引き続きのご指導・ご支援をお願い申し上げます。

自見はなこ氏の公認を八月上旬に発表する予定であり、党としても全力で支援いたしますが、本日ご出席の全国の医師連盟（医師会）の先生方を中心に各地域で支援の輪を広めていただくことも大切と考えているので何卒、よろしくお願い申し上げます。」

日医連交付金は昨年度と同額で承認

議事に入り、「日医連役員等人事」については、全会一致で承認された（人事の変更については**別表**に掲載、全体の名簿は日医連ホームページに掲載）。

続いて、「日本医師連盟交付金」について審議が行われた。

今村副委員長から、「昨年度と同じく負担金の四〇％を各都道府県医師連盟に交付することとさせていただきたい」と提案があり、平成二十七年度交付金については、原案どおり承認された。

自見はなこ支援活動サポーター名簿二百万人を目標に！

引き続いて自見はなこ支援（後援会）活動について今村副委員長から「サポーター名簿については、全国で二百万人としたい。その他の支援（後援会）活動としては主に次のことをお願いしたい」と当面の主な具体的取り組み内容について説明があった。

『当面の主な活動としては、①支援計画の策定について。②ホームページ、広報紙等での推薦決定や自見はなこ氏の政策の周知。③郡市区医師連盟役員が一般会員・地方議員・企業団体への挨拶回り。リーフレット、ポスターの配布。④各種団体（都道府県や郡市区）への推薦依頼。⑤投票方法の周知について。「比例区（全国区）も個人名を書いて投票する」を徹底。⑥医師会（医師連盟）関係の会合での広報物の配布について。⑦ソーシャルネットワーク（ツイッター、フェイスブック）の活用について。』

また横倉委員長から「前回は半年間での活動であった。今回は一年前から取り組めるので、前倒しでスケジュールを組んで、積極的な運動展開を行っていただきたい」と自見はなこ支援（後援会）活動について都道府県医師連盟に協力を要請した。

そののちの質疑では、「自見はなこ後援会を立ち上げて運動展開をしていただきたい」と意見があり、横倉委員長は「後援会組織の立ち上げについては、常任執行委員会でもご提案をいただいており、今後検討を進めしっかりと対応したいと考えている」とし、自見はなこ支援（後援会）活動全般について提案どおり全会一致で承認された。

議事の終了後、日本医師連盟推薦の羽生田俊参議院議員から最近の国政報告と国会情勢について挨拶があった。続いて、自見はなこ日医連参与から、「昨年十一月の推薦決定以来、全国の先生方に大変お世話になり誠にありがとうございます。全国の医師会や医療機関を訪問させていただき、地域医療を支える全国の先生方とお会いさせていただいておりますが、私は先生方が日々の活動を通してわが国の医療・介護を支えている現状を国民の皆さまにわかりやすい言葉で伝えていく、その役割を担わせていただきたいとの一心で誠心誠意活動をしております。あと一年、残された時間を有効に使い地区医師会や医療機関へお伺いさせていただきたいと考えておりますのでこれからも変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げます」と決意表明がなされた。

最後に、自見はなこ参与の益々の活動展開に向け尾﨑治夫東京都医師政治連盟委員長の発声で「ガンバロー」コールが行われ執行委員会は閉会した。

羽生田俊参議院議員

自見はなこ参与

『ガンバロー !! 』

別表　平成27年7月21日現在

役員・執行委員等の変更について

（常任執行委員）　（敬称略）

	新	←	旧
東京都	猪口　正孝	←	尾﨑　治夫
神奈川県	古谷　正博	←	大久保吉修

（参　与）

新
羽生田　俊

（執行委員）

	新	←	旧
東京都	尾﨑　治夫	←	野中　博※
	野中　博 角田　徹	←	猪口　正孝 野津原　崇
神奈川県	澤井　博司 菊岡　正和	←	加藤　勲 丸田　桂子
石川県	上田　博	←	浮田　俊彦
三重県	二井　栄	←	小林　篤
滋賀県	猪飼　剛	←	笠原　吉孝※
	越智　眞一	←	猪飼　剛

※都道府県医師連盟委員長の交代による変更

誰にでもできる！ 政治活動・後援会活動について —公示前にできる活動—（参議院比例代表）

主な活動のポイントです。すべてを行うのは難しいかもしれませんが、できるところからひとつ、ひとつご協力をお願いいたします。
私たち1人ひとりの発言や行動が世論をつくり、1票1票を積み上げることに必ずつながります。

❶ 後援会活動の計画、スケジュールを決定する。

郡市区医師連盟（医師会）として、今後1年間の活動について具体的な活動内容とスケジュール等の検討を行う。

❷ 推薦決定したことを会員へお知らせする。

推薦した自見はなこ氏について、推薦決定の事実と政策を会報や機関紙、ホームページに載せる。
（通常の方法・手段で）
ホームページに自見はなこ氏のホームページをリンクする。

❸ ポスターを貼る。

医療機関、自宅などに自見はなこ氏のポスターを貼り出す。
・室内用：医療機関などの室内に掲示してください。

❹ リーフレットの配布とサポーター名簿の協力。

家族、医療機関の職員、患者さんや友人、知人、企業・団体、へリーフレット等を後援会の討議資料として配付し、自見はなこ氏の政策や今の日本の医療・介護に関する問題について説明し理解していただき、サポーター名簿の協力のお願いをする。サポーター名簿の記載に当たっては、なるべく多くの方に電子メールアドレスを記載していただく。

❺ 参議院比例代表（全国区）選挙の投票方法について周知をする。

全国どこにお住まいでも投票できることと、必ず候補（予定）者の『個人名』を投票用紙に記載し、投票する制度であることを説明する。
政党名での投票は『候補者』の得票とはなりません。

❻ 職場の朝礼や会議の際に職員に対して、自見はなこ氏の政策について説明する。

リーフレットや日医連ニュースを活用してお話をする。何度でも反復して行う。

❼ 医師連盟の役員が、一般会員を訪問する。

訪問先では、自見はなこ氏の政策についてお話をして、理解を深めてもらう。また、ポスターの掲示がなされていない医療機関ではポスターのお願いも併せて行う。

❽ 定期的に支援活動（後援会活動）に関する会議を行う。

郡市区医師連盟（医師会）の会議の際に、対策会議を開催する。
会議では、会員やその家族、職員へ確実に必要な情報（自見はなこ氏の政策、投票方法について等）が伝達されているか、サポーター名簿の獲得状況について、ポスターは医療機関等に掲示されているか、活動に漏れはないか等の確認を行い、必要な対策を県医師連盟や日医連と連携して行う。

❾ ホームページ・フェイスブック等の利用について。

郡市区医師連盟（医師会）や会員の先生方が開設している、ホームページ、ブログ、フェイスブック、ツイッターに自見はなこ氏についての書き込みを継続的に行う。（「投票依頼」や「参議院選挙に立候補する」などの直接的な表現はさける。表現について迷う場合は医師連盟へ確認してください）

日医連

実務者会議を開催

挨拶する今村聡副委員長

挨拶する自見はなこ参与

日本医師連盟は、七月二十六日、東京都内において都道府県医師連盟事務局を対象とした実務者会議（日医連事務局と都道府県医師連盟事務局との政治活動・後援会活動や参議院議員選挙に関する勉強会）を開催した。

冒頭、今村聡日医連副委員長は、「来年夏の参議院議員選挙には自見はなこ日医連参与の推薦を決定している。前回は当時の羽生田俊日医連副委員長（日医副会長）を組織内候補として擁立し当選を果たすことができた。都道府県医師連盟事務局の皆さまにも後援会活動等にご協力をいただいたことに改めて感謝申し上げる。いよいよ自見はなこ参与の後援会活動が本格化してくるなか、医師連盟役員の活動をしっかりと事務局の皆さまにサポートしていただき、また、地区医師連盟（医師会）事務局とも連携をとり、後援会活動を行っていただきたいのでよろしくお願い申し上げる。選挙に限らず通常の政治活動、陳情活動でも事務局の皆さまのサポートが極めて重要と感じているので、今後とも医政活動へのご協力をお願いしたい」と挨拶があり、政治活動における医師連盟事務局の役割の大切さを述べた。今村副委員長は挨拶ののち公務の関係で退席した。

そののちの会議では、参議院比例代表（全国区）選挙における具体的な後援会活動・政治活動について日医連事務局から説明と質疑応答を行った。

会議終了後は意見交換会を行い、各県の現状や取り組みについて意見交換が行われ、自見はなこ参与も出席し全国の医師連盟事務局の方と親睦を深める会となった。

「自見はなこ先生を励ます会」を開催
全国初！ 鳥取県医師連盟

八月八日、全国の医師連盟で初となる「自見はなこ先生を励ます会」（鳥取県医師連盟主催）が鳥取県米子市内で開催された。

当日は、約百二十名が出席し自見はなこ参与を激励した。また、鳥取県選出の赤澤亮正内閣府副大臣、舞立昇治参議院議員も出席した。

励ます会は明穂政裕鳥取県医師連盟副委員長の司会で開会し、魚谷純鳥取県医師連盟委員長の挨拶のあと、出席した地元選出の国会議員から激励の挨拶があった。

そののち、自見はなこ参与から、『政治を志したきっかけや国政にかける強い想い、政治活動への支援など』について、力強い決意表明とお願いの挨拶が行われた。

野坂美仁鳥取県西部医師連盟委員長の発声で「ガンバロー！」コールが行われ、県内でのさらなる後援会活動の活発化を誓い合い励ます会は終了した。

励ます会の開催に先立つ、同日午前には、魚谷委員長同行のもとに、自見はなこ参与が県内の医療機関訪問を行った。

自見はなこ先生を励ます会

医療機関訪問　（右から）自見はなこ参与、魚谷純鳥取県医師連盟委員長

第10回 医療政策研究会開催
医療政策研究会
（会長：武見敬三参議院議員）

七月十四日、第十回医療政策研究会（会長　武見敬三参議院議員）が自民党所属衆議院議員六十名、参議院議員十八名（代理を含む）の出席を得て、吉川貴盛事務局長司会で開催された。

冒頭、西川公也副会長から「平成二十八年度予算編成に向け本日出席の先生方より忌憚のないご意見を賜りたい」との開会挨拶があり、武見敬三会長は「自民党内に財政至上主義が跋扈するなか、この勉強会を通して自民党が社会保障に対して調整能力を発揮できることを示したい」と挨拶した。

今村聡日医連副委員長から日医連（日医）役員の紹介後、横倉義武日医連委員長が「医療の現状と課題」と題しての講演を行い、主に骨太の方針二〇一五を中心として日医連（日医）の考え方とあるべき医療・介護の方向性について説明を行い、そののち、出席議員と意見交換が行われた。

○主な質問や意見
・一人当たり医療費の地域間格差、ジェネリック医薬品の流通に関して。
・地域医療ビジョンが当局の意を酌んだような報道がなされることへの違和感について。
・消費税一〇％へのアップを二年後に控え、控除対象外消費税解消に向けての日医の戦略的対応の重要性に関して。
・TPP交渉の妥結が近い将来に予想されるなか、日本の医療は大丈夫であるかとの懸念。
・小児の医療費無償化の是非について。

当日は、日医連（日医）役員と社会保障、医療・介護問題に関心をもつ自民党国会議員の間で活発な意見交換が行われ有意義な会合となった。

平成二十五年二月に第一回の会合を開催。自民党の衆・参の議員で構成し、医療・介護政策、社会保障に関する諸課題について日医連（日医）との間で意見交換を行ってきた。五十七名のメンバーで発足し、診療報酬改定や政府の「骨太の方針」などに対して多くの意見や提言をまとめ成果を上げてきた。今回（第十回）から約四十名の先生方（自民党）が新たに加わった。

挨拶する横倉義武委員長（中央）